

かねはまあきらの 34才

写真

一緒に生きていこうよ。青森で、八戸で。

01 政治家を志した動機

今の子どもたちの多くが生きる2100年代に、青森県、八戸市は、どうなっているでしょうか？
社会の制度設計・組織構造・意思決定システムを変革させることができない、“**がんじがらめ**”の今の日本社会、特に地方社会。その“**構造的課題**”により様々な場所で歪みが大きくなっています。
僕は、八戸で、青森で生きていきたい。次の世代へ生きたいと思える故郷を引き継ぎたいと、行動する覚悟を決めました。
青森は、八戸は、未来への希望に満ち溢れている。目の前の現実と真摯に向き合い、アップデートを仕掛けたいのです。

02 今回の選挙で僕が目指している2つのこと

①**名もなき僕のトップ当選**
僕はトップ当選を目指しています。名もなきチャレンジャーがトップ当選する八戸市。変革を期待できる希望が生まれませんか。今回の八戸市選挙区の立候補者の平均年齢は約63歳。意思決定の当事者組織に世代の偏りがあるという日本の政治課題が、青森県政の場でも起きています。多様性に欠けた偏りのある状況だと思いませんか。
②**未来を考える証としての投票率70%**
僕は今回の選挙における八戸市選挙区の投票率70%を目指しています。選挙は現行の民主主義システムにおける有権者の最大の意志反映の場です。
諦めないで。逃げないで。僕らの未来。愛する次の世代の未来を。
僕は闘います。青森、八戸の未来のために必要な政策を実行する、故郷の歴史の歯車になりたいのです。

03 かねはまあきらの政策実現

(1)**意思決定の場に未来世代の声を届ける**
未来世代が世代の視点で政策づくり・政治活動を実践できる場を、政治団体「青森未来世代会議」の活動を通して提供します。そして、自身が県政の場で広く情報を公開し必要な政策提案を行います。
(2)**次世代に時代を先取りした教育活動を届ける**
ICT toolを最大限に活用し教育DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、教員の働き方改革の実現と児童生徒の個別最適な学習機会の提供に尽力します。
(3)**新たな生涯スポーツ・地域スポーツ環境を届ける**
「部活動の地域移行」という課題と向き合い、人生100年時代の新たなスポーツ実施環境の早急な構築に尽力します。
(4)**手厚い支援で、故郷で子育てできる安心を届ける**
「子育て・教育の無償化」により近づけられるよう、所得制限を撤廃した子育て・教育費用の無償サービスの拡充に尽力します。

分断ではなくバランスを
協働で解決を
是々非々で政策を前に進める

#生きたい青森を繋ぐ

プロフィール
昭和63年9月5日 八戸市生まれ(34歳)

学歴
□八戸市立長者小・中学校卒業
□青森県立八戸高等学校卒業
□信州大学教育学部卒業

経歴
□青森県公立高校教員(保健体育)
□青年海外協力隊出向(2018~2020 派遣先:ジャマイカ)
□政治団体 青森未来世代会議 代表
□一般社団法人未来貢献塾GLI 代表理事
□一般社団法人スポーツアズライフ八戸 代表理事
□総合型地域スポーツ・文化クラブ
デポルターレ八戸 クラブマネージャー
□青森県青年海外協力協会 事務局長

主な実績・活動
□東北大会優勝(スピードスケート)4回
□冬季国体入賞(スピードスケート)2回
□JICA海外協力隊(長期)体育隊員
□英検準1級

国民民主党推薦
かねはまあきら official ▶ 